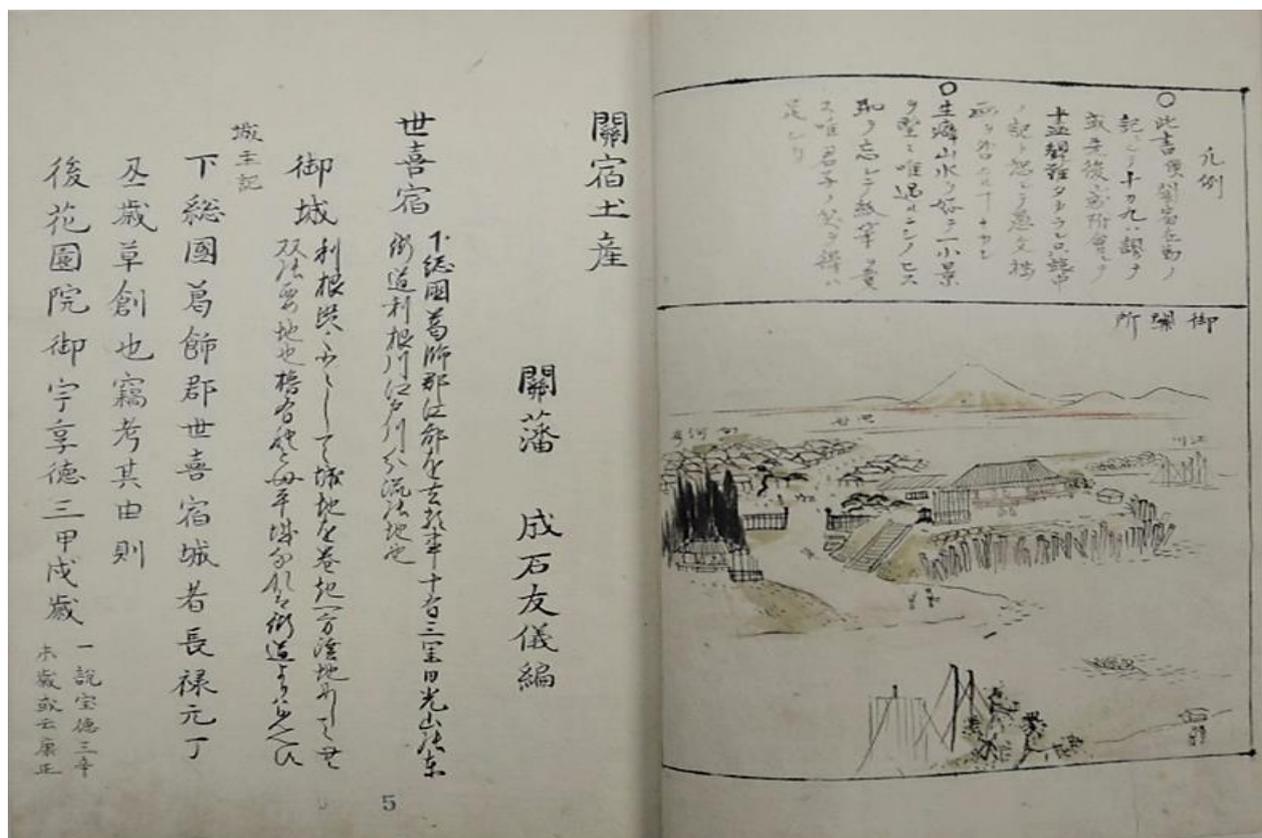


千葉文化



資料散策 73

『関宿土産』 成石友儀（修輔）編 1836（天保7）著

『関宿土産』は関宿藩士の成石友儀（修輔）が、藩主久世広周ひろちかの帰国に供奉した折、友人への土産に関宿の名所や由来などを書き記した紀行文で、天保7（1836）年に刊行されました。利根川や江戸川をはじめとして、関宿城や城下町の様子などが図入りで詳しく記されています。たとえばこの頁の右側の図は、江戸川の渡船場を行き交う船と関所での旅人の様子が描かれ、頁を改めて関所の説明がされています。江戸時代後期の関宿の様子を知る上で貴重な史料です。

この記事の執筆には千葉県立関宿城博物館のご協力をいただきました。
また、この資料は千葉県立図書館ホームページの「菜の花ライブラリー」
（千葉県デジタルアーカイブ）でもご覧いただけます。

MLA連携事業のご紹介

MLA連携とは、文化的情報資源を収集・蓄積・提供する公共機関であるという共通点を持つ博物館（Museum）・図書館（Library）・文書館（Archives）の連携のことです。中央図書館では様々な機関と連携して「本の魅力」を発信しています。その一部をご紹介します。



千葉県立中央博物館特別展「房総うみの幸 大百科 -千葉の豊かな海と食文化-」の関連イベントとして、令和7年7月26日（土）にトークイベント「東京湾とお寿司」を開催しました。

講師には、築地市場の水産仲卸会社に務めたご経験があり、現在は豊洲市場内の図書室「銀鱗文庫」を運営する福地享子氏をお招きし、お寿司の歴史や江戸前の寿司ダネについてお話いただきました。

講師の軽妙な語り口に笑いが起こる場面もあり、質疑応答では多くの質問が寄せられ、活気のあるイベントになりました。参加者からは「東京湾と寿司の関係がとても興味深かった」「内容が多岐にわたり楽しかった」「夜ごはんは寿司に決定しました」などの感想が寄せられました。



Museum × Library

みんなで楽しむ昔ばなし

令和7年8月2日（土）・3日（日）、千葉県立房総のむら「むらの縁日・夕涼み」にて、特別演目「みんなで楽しむ昔ばなし」としておはなし会を行いました。

房総のむらがある栄町には、「雨をふらせた龍」という民話があります。1日目は素話で、2日目は絵本で『雨をふらせた龍』（栄町民話伝承プロジェクト実行委員会）をみんなで楽しみました。他にも、

『ももたろう』（まついただしぶん あかばすえきちえ）
『お化けの真夏日』（川端誠作）などを読みました。



県立図書館では、イベント情報・今週の到着図書・司書のおすすめ本など、図書館の“最新情報”をXで発信しています！
QRコードからアクセスしてみてください！！

＼アクセスはここから！／





新聞雑誌室展示

Archives × Library

千葉県文書館企画展「千葉県の「昭和」—激動の1926～1989—」の開催に合わせて、中央図書館では、新聞雑誌室展示「昭和100年～雑誌と新聞でめぐる昭和・平成・令和～」を令和7年9月26日（金）～12月18日（木）まで行いました。

本展示では、県立図書館所蔵の雑誌創刊号を発行年代順に展示し、昭和から現代に至るメディアの姿を辿りました。さらに、新聞記事を通じて、各時代を象徴する印象的な出来事を振り返り、当時の価値観や空気感を浮かび上がらせ、雑誌と新聞という二つの視点により「昭和100年」の記憶を紐解く展示になりました。



子どもの読書活動推進センター通信

2026.3

～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～

No.006

千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）が策定されました！

令和7年10月に千葉県教育委員会が「千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）」を策定しました。特色として「子どもの視点に立った読書活動の推進」と「不読率の低減」などが挙げられています。詳細は[千葉県教育委員会「子どもの読書活動の推進」](#)をご覧ください。ここでは県立図書館で取り組む方針について、数点ピックアップしてご紹介します。



千葉県教育委員会「子どもの読書活動推進」のページはこちら→

「子どもの意見を取り入れる機会の確保」

インタビューやアンケートなどで子どもの声を集め、その意見を図書館や読書活動の取り組みに反映させます。また、子どもが主体となって実施する活動などの推進として、読書イベントの企画・運営に子どもたちが関わる機会を作れるよう検討いたします。

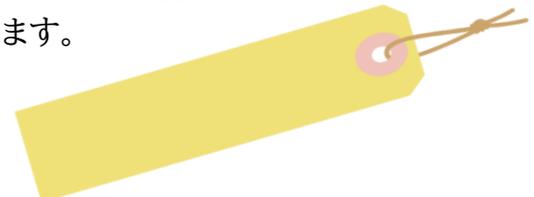
「図書館のDX化」

デジタル社会に対応するために、電子書籍サービスの充実などの図書館のデジタル化（DX化）も進めていきます。これにより、より多くの子どもたちが本に親しむ機会を持てるようにし、不読率の低減を目指していきます。

「読書バリアフリー」

障害のある子ども・保護者に向けて、点字資料や大活字本、DAISY（音声データ）などを用意します。また、特別支援学校への読書支援も行います。

県立図書館では、子どもの読書活動推進センターを中心に、当計画や方針に沿って関係機関や地域等とも連携し、これからもまい進していきます。



県立図書館電子書籍サービス 好評稼働中！

県立図書館では、令和6年5月28日から紀伊國屋書店の学術電子図書館「KinoDen」の電子書籍サービスを提供しています！令和8年1月末時点で、5,613冊の電子書籍が導入されており、24時間いつでも閲覧が可能です。トップページでは、閲覧数の多い書籍や新着書籍のほか、テーマ別の電子書籍をご紹介します。また、耳で聴く本として、オーディオブックも多数取り揃えています。電子書籍の追加情報などは当館のホームページやXで随時お知らせしていますので、こちらもあわせてチェックしてみてください。

いつでも、どこでも、簡単に読める電子書籍サービスを、ぜひ一度ご利用ください。

*ご利用には当館の資料貸出券番号等が必要となります。

詳細については右側の二次元バーコードをお読み取りください。→



茂原市立図書館

～ ルポルタージュ千葉73～

2025（令和7）年3月21日、茂原市立図書館が市内の生活の中心地にある茂原ショッピングプラザアスモ内へ移転し、新しく生まれ変わりました。ショッピングプラザの2階に上がると、一際明るい展示が目飛び込んできます。通路沿いの素敵な展示を見ながら図書館の入口に向かいます。

館内は落ち着いた配色の書架や学習専用の机等が並んでいます。市民の要望も多かったゆったりとした読書スペースも確保されており、近隣にある高校の生徒や買い物ついでにきた親子連れなど、移転前と比べ、2倍以上利用者が増えたとのこと。また、現在は実証実験で導入されている次世代ロボットが利用者を本や情報、イベントなどと結びつけてくれます。

図書館のサービス方針は「本のある暮らし」、「学びの機会創出」、「親子が1日中過ごせる環境の提供」、

「ライフスタイルの提案」となっており、市民の生活の中に図書館が溶け込んでいます。読書を楽しむ方、熱心に学習や調べものをする方、絵本をゆったり楽しむ親子など、多くの方が来館され、まさに茂原市民の生活の拠点であり、情報の発信地ともなっています。



茂原市立図書館

<利用案内>

〒297-0029

千葉県茂原市高師 1735 番地

茂原ショッピングプラザアスモ 2階

Tel 0475-23-6151

開館時間 10時～19時

休館日

年末年始（12/29～1/3）

特別整理期間

<https://opac.library-mobara.jp/>

<https://opac.library-mobara.jp/mobile/>



千葉県立中央図書館

〒260-8660 千葉市中央区市場町 11-1 TEL043-222-0116
<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>